

社会資本総合整備計画（市街地整備） 事後評価書

令和 年 月 日

計画の名称	名城公園の魅力向上								
計画の期間	平成28年度～令和2年度（5年間）	交付対象	名古屋市						
計画の目標	名城公園の基幹施設である名古屋城において、戦災により焼失した本丸御殿を復元すること等により、市民の新たな誇りを創出するとともに、歴史的・文化的価値と魅力を向上し名古屋圏の活性化を図る。								
計画の成果目標（定量的指標）	観光施設である名古屋城への来場者を、135万人（H21年度）から210万人（令和2年度）に増加								
定量的指標の定義及び算定式	名古屋城への来場者数を、本丸御殿の公開による来場者増を勘案して算出する。			定量的指標の現況値及び目標値					
			当初現況値 (H21実績)	中間目標値 (H28年度)	最終目標値 (R2年度)	備考			
			135万人	180万人	210万人				
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	3,552百万円	A	3,552百万円	B	C	D	効果促進事業費の割合	0.00%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
名古屋市	令和3年8月～11月
	公表の方法
	名古屋市HP上にて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																
A1 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H28	H29	H30	H31	R2			
1-A-1	公園	一般	名古屋市	直接	名古屋市	都市公園事業（名城公園）	名古屋城本丸御殿の復元 0.3ha	名古屋市						3,552		
										合計			3,552			
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H28	H29	H30	H31	R2		
														0		
										合計			0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H28	H29	H30	H31	R2			
								名古屋市						0		
										合計			0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H28	H29	H30	H31	R2			
														0		
										合計			0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本丸御殿の第3期公開の開始により、平成30年度は来場者数220万人を達成することができた。</li> <li>・新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、整備計画最終年度の令和2年度は来場者数が減少した。</li> </ul>		
II 定量的指標の達成状況	指標① 名古屋城来場者数	最終目標値	210万人	目標値と実績値に差が出た要因 ・新型コロナウイルスの全国的な感染拡大による影響
		最終実績値	52万人	
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)				
3. 特記事項 (今後の方針等)				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・復元模写障壁画等の作成は終了していないため、第3期公開後も完成した復元模写障壁画を順次、本丸御殿内の壁や建具などに貼り込む表具工事を継続して行う。</li> <li>・令和3年度に新たに公開した、重要文化財旧本丸御殿障壁画を展示する西の丸御蔵城宝館とも連携し、引き続き制作する復元模写障壁画をPRする等、本丸御殿が持つ魅力をわかりやすく伝え、歴史的・文化的価値を発信していく。</li> <li>・定量的指標について、新型コロナウイルスの感染拡大防止を目的とした臨時閉園のような不測の事態が起きた際に、適切な評価をするためには「来場者数の増加」の1つでは不足している。「来場者数の増加」とは別の視点として、新たな指標を設ける必要がある。</li> </ul>				